

高松市生涯学習センター 生涯学習推進事業「市民の学習成果の発表の場提供事業」

「らくらくピアノ」を開催しました。

平成27年1月21日（水）全日本らくらくピアノ協会認定講師の小島明美さんを講師に迎え、「らくらくピアノ」の講座を開催しました。

「らくらくピアノ」は中高年の方を対象としたピアノのグループレッスンで、指番号と階名シールを使って、初めての方でも1回のレッスンでベートーヴェンの「第九（歓喜の歌）」が両手で弾けるようになります。

初めに「幸せなら手をたたこう」を手拍子や足踏み等の動きを加えながら歌った後、手拍子で先生のリズムをまねる「まねっこリズム」で身体と心をほぐしました。

そして「第九」の練習です。

まず右手から。

- ①メロディーを階名で歌う。
- ②指番号を覚えた後、先生の弾くメロディーに合わせて指番号を言いながら指を確認。
- ③紙鍵盤で指を動かす練習。
- ④ピアノ・キーボードで右手の練習。



次に左手です。

- ①楽譜のコードネームを言いながら紙鍵盤で練習。
- ②右手のメロディーを歌いながら、左手を紙鍵盤で確認しながら練習。
- ③ピアノ・キーボードで先生のメロディーに合わせて左手を練習。



いよいよ両手にチャレンジします。

- ①紙鍵盤で両手を練習。途中の左手の動きが多くて難しい部分はみなさん何度も真剣に練習を繰り返していました。
- ②ピアノ・キーボードで両手を練習後、最後は全員で合わせて弾きました。

「ピアノは全く初めて」という方が「本当に両手で弾けた!!」と喜んでいる姿が印象的でした。

「家でずっと眠っていた楽器のふたを開けて弾きます。」とおっしゃる方や、楽譜の選び方を質問された方もいて、これから楽器を楽しむきっかけになったと思います。